

まちづくりセミナー

まちなかの賑わいや郡山のまちづくりに関するセミナーを開催いたします。10月は「特産品のブランド化のための地理的表示（G I）の活用法」について理解を深めたいと考えております。また、講演会終了後、講師を囲んでの情報交換会並びに懇親会を開催いたします。

日 時

平成29年10月20日（金）

・セミナー 午後5時～ ・情報交換会&懇親会 午後6時30分～

場 所

郡山ビューホテルアネックス

・セミナー 3階「麓山」

・情報交換会&懇親会 13階「コションドール」

〒963-8004 郡山市中町10-10 TEL024-939-1111

定 員

50名（定員になり次第締め切りとさせていただきます。）

参 加 料

セミナー (無料)

情報交換会&懇親会 (一人3,000円 当日ご持参ください。)

演 題

「特産品のブランド化のための
地理的表示（G I）の活用法」

講 師

浅野 卓（あさの たかし）氏（略歴 裏面参照）

浅野国際特許事務所・国際知的財産戦略研究所副所長

主 催／郡山まちづくり協議会

お申込・お問合せ／郡山まちづくり推進協議会事務局

郡山商工会議所 開発事業部 本田・慶徳まで

TEL024-921-2610/FAX024-921-2640 E-mail : admin@entre.gr.jp

お申込みはFAXでどうぞ FAX 024-921-2640 郡山商工会議所開発事業部行き

「特産品のブランド化のための地理的表示（G I）の活用法」参加申込書

団体・事業所名		電話番号			
ご住所 〒					
参加者名	役職名	懇談会	参加者名	役職名	懇談会
		出・欠			出・欠
		出・欠			出・欠

=講師プロフィール=

浅野 卓(あさの たかし)氏



【専門】

◆知財ビジネスプロデューサー。

◆知財法・独禁法・契約実務を着実に押された知財経営・知財戦略を基軸に、理論に裏打ちされたブランド構築、事業創出を専門とする。特に農水分野では、地理的表示(GI)や6次産業化・農商工連携等のプランニングを行う。産学官連携にも携わる。

【略歴】

- ◆早稲田大学卒業(法律)の後、「経営」と「法律」「政策」の複合面からの知財戦略を描きだすべく、社会人院生として、東京理科大学大学院 専門職学位課程(知事戦略)首席修了・総代、早稲田大学大学院 修士課程(知財権法)修了。
- ◆国家資格 一級知財技能士(全専門業務)、AIPE 認定 知財アナリスト(全職種)等、実務を通じて、知財マネジメントおよび事業プロデュースに関する国家・公的資格を多数取得。
- ◆現在、アグリ事業創出研究所(アグリ創研) 代表役員(2011年~)、浅野国際特許事務所 知財経営・農水事業創出領域 領域長 兼 国際知的財産戦略研究所(IIS) 副所長(2004年~)、有限会社アポ 取締役社長(1998年~)、有限会社 APOCO 取締役社長(2006年~)。
- ◆農林水産省 国立研究開発法人審議会 専門委員(2017年~)。

【地域活性化の実績】

- ◆農林水産省関東農政局選定6次産業化プランナー(2012~2013年)、6次産業化中央サポートセンター登録6次産業化プランナー(2014年~、全国対応)等として、地域経済の中核をなす全国の農林水産業者・中小企業経営者を支援。
- ◆文部科学省の大学 COC 事業である、名古屋学院大学『地域の質を高める地域連携・知識還元型まち育て事業』において、中小企業や地域に根差す企業のための知財経営を共同研究(2014~2017年)。
- ◆復興応援 KIRIN 紋プロジェクトである、『伝統産業「伊達のあんぽ柿」の復活と継承～新たな挑戦』等、震災復興事業にも協力(2015年~)。
- ◆『吉野杉による快眠プロジェクト(吉野林材振興協議会賞、2011年)』等、数々の地域活性化ビジネスモデルを構築。

【地理的表示の実績】

- ◆農業系特別民間法人にて、全国1000万人のグループ全体の、地理的表示(GI)制度を戦略的に活用した地域活性化ビジネスモデル(ブランド戦略、農観連携に至るアウトカム戦略等)を構築(2014~2016年)。当該ビジネスモデルを普及するため、また、実際の運用体制や GI の使用を指導するため、全国各地の JA およびブランド協議会のアドバイザーを務める(2016年~)。
- ◆制度施行初日の地理的表示(GI)「登録申請受付式」において、受付開始と同時に申請された14件のうち3件と、最も多くの申請を代理(2015年)。その後も申請・登録件数を重ねる。
- ◆対象産品が地理的表示(GI)を活用した地域起こしの中核たりうるか評価する「GI 指数」を開発、全国各地の農業団体に採用される(2015年)。
- ◆知財技能士として、地理的表示(GI)保護制度の申請や登録後の活用支援を通じ、同制度の普及および知財技能士のプレゼンス向上に貢献している実績等により、第1回知財技能士会奨励賞を受賞(2017年)。